

難病啓発でチラシ配布

徳大病院で支援団体会員ら

難病に関する相談窓口などが書かれたチラシを受け取る来院者―徳島市蔵本町の徳島大学病院



発月間」と設定した。月間を中心に、啓発事業や相談会などを集中的に行っている。
(石津遼)

難病に対する理解を深めてもらおうと、徳島県は23日、徳島市蔵本町2の徳島大学病院で、関係機関とともに相談窓口などを紹介するチラシを配った。

難病や内部障害など見た目では障害があると分かりづらい人でも配慮が必要なことを周囲に伝えられる「ヘルプマーク」も希望者に配った。

県職員のほか、同病院患者支援センターの職員や県内の難病自助グループ12団体でつくる「とくしま難病支援ネットワーク」の会員ら15人が参加。難病患者や家族が相談できる窓口の一覧表や、難病をテーマにした講演会の開催予定が書かれたチラシを来院者に手渡した。

県は昨年、毎年6月を「県難病対策普及啓